

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立大州中学校	校長氏名	大下 恵子	生徒指導主事氏名	山田 久司
取組事例名 『体育祭や文化祭を通じて』					
取組のねらい 『キーワード 上級生から下級生へ』					
縦割りブロックによる、上級生から下級生への指導を通じて、上級生のリーダー性や自尊感情の育成・向上を図る。					
取組の具体的内容 『キーワード 生徒自身の自主性』					
<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育祭では、応援団を通じて上級生が応援を行う内容や取り組み方を考え計画を立てる。そして、下級生への指導を行う。また、応援歌の歌唱指導やかけ声指導も団長や副団長を中心に指導していく。 ○ 文化祭では、縦割りのクラスが集まり各クラスの課題曲や自由曲を相互に鑑賞し、上級生のパートリーダーや伴奏者・指揮者を中心に、下級生に指導・アドバイスを行う。 ○ MSV（みんなで しょう ボランティア）は、生徒会を中心とした呼びかけを行った。 					
取組の課題・創意工夫 『キーワード 上級生の意識向上』					
<ul style="list-style-type: none"> ○ 上級生のみ、あるいは決まった生徒のみで行う場面があり、下級生への指導が十分に徹底できていない場面があった。 ○ 応援団長やパートリーダーへの具体的な声かけ・指導（昨年度のビデオ鑑賞や音楽科からの専門的なアドバイス）を行うことで、生徒自ら具体的な取り組み方が理解でき、下級生への指導・支援が出来るようになっていった。 ○ MSV では、学校朝会や代議員会での呼びかけを行った。 					
取組の成果（効果） 『キーワード 数値の結果から』					
<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力学習状況調査の結果では、自尊感情（自分には良いところがある 85.6%・学校に行くのが楽しい 85.6%）を抱いて学校生活を送っている 3 年生の割合は約 86%である。 ○ 学校評価アンケートにある自尊感情「学校に行くのが楽しい」の 1 回目の結果は 88%、2 回目の結果は 91%であった。ほとんどの生徒が自尊感情を持って生活が出来ている。 ○ 学校評価アンケートでのボランティア活動に参加している生徒の割合は、1 年生 80%→84%、2 年生 71%→73%、3 年生 59%→72%であり、生徒会を中心とした呼びかけにより参加人数が増えた。 					
今後の展開 『キーワード 行事のみならず』					
行事のみでの活動になっているので、生徒会を中心にあいさつ運動や登下校指導、上級生のリーダー性が発揮できる取組方法（開始準備から終わりの片付けまで）を生徒会中心に考えていく。					
他校へのアドバイス 『キーワード 年間を通して』					
学校行事（新入生を迎える会、体育祭、文化祭）を年間通して（連続する）行うことで、上級生のリーダーとしての意識が向上し、生徒全体で行事が盛り上がるようになり、伝統が引き継がれていくと思います。					